

# 平成26年度林業技術センター 研修実施計画の概要

## 1 はじめに

本県の森林及び林業に関する研修は、「岩手県林業技術センター条例」第2条に基づき、森林資源の充実及び林業の振興に寄与することを目的に当センターが実施しています。

研修実施計画の策定にあたり、市町村、森林組合、林業関係団体及び広域振興局等から研修の要望調査を行ったところ、15項目の要望が寄せられました。

実施の要望があった研修には、林業関係業務に係る森林整備等の補助活用、森林病虫害の生態・加害状況・防除方法についての総合的・専門的な研修、特用林産物を取り扱う関係者に対し放射性物質対策に関する研修、森林作業道設計技術者養成研修及び林業機械研修・高性能林業機械オペレーター研修などがありました。

当センターでは、これらの要望を踏まえ、岩手県林業労働力確保支援センターが実施する研



高性能林業機械オペレーター研修

修と連携し、国における人材育成のプログラムも勘案して、次の方針で実施することとしています。  
(研修計画表 参照)

## 2 重点事項

### (1) 林業機械研修

林業従事者等を対象として、林業機械に関する本県唯一の労働安全衛生法に基づく登録機関として研修を

## 平成26年度研修計画（専門研修）

### (1) 森林組合等職員養成研修

研修区分	主な研修対象者	時期	日数	募集人員
ア 市町村林務職員等初任者研修	市町村林務担当職員等	5月	3日(1回)	40名
イ GIS・GPS 林業活用技術研修(初級)	市町村・森林組合等担当職員	11月	1日(1回)	20名
ウ GIS・GPS 林業活用技術研修(中級)	〃	11月	1日(1回)	20名
エ 森林作業道路網計画研修	〃	11月	2日(1回)	15名

### (2) 林業機械研修

研修区分	主な研修対象者	日程	日数	募集人員
ア ショベルローダー等運転技能研修	林業・林産業従事者等	5.12~5.16	5日(1回)	10名
イ 車両系建設機械(整地等)運転技能研修	〃	①6.9~6.16 ②9.25~9.26、9.29~10.2 ③9.25~9.26、10.6~10.9	6日(3回)	各20名
ウ 不整地運搬車運転技能研修	〃	①7.7~7.8 ②7.7、7.9 ③7.7、7.10 ④7.7、7.11 ⑤9.8~9.9 ⑥9.8、9.10 ⑦9.8、9.11 ⑧9.8、9.12	2日(8回)	各10名
エ 高性能林業機械オペレーター研修	〃	8.25~8.29	5日(1回)	10名
オ 地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能研修	〃	11.4~11.6	3日(1回)	20名程度
カ はい作業主任者技能研修	〃	11.18~11.19	2日(1回)	20名程度

### (3) 林業特技研修

研修区分	主な研修対象者	時期	日数	募集人員
ア 森林保護技術研修 森林保護基礎研修(I) 森林保護基礎研修(II) 森林保護専門研修	林業普及指導員等	5月 6月 9月	半日(1回) 半日(1回) 1日(1回)	15名 15名 25名
イ 原木シイタケ栽培技術研修 第I期原木シイタケ栽培技術基礎研修 第II期原木シイタケ栽培技術基礎研修 第III期原木シイタケ栽培技術基礎研修 ハウス活用ホダ化促進技術研修	シイタケ生産者 林業普及指導員等	5月 6月 11月 1月	1日(1回) 1日(1回) 1日(1回) 1日(1回)	25名 25名 25名 15名

実施します。

林業機械の導入が進んでいる中で、車両系木材伐出機械をはじめ車両の転倒事故などが増加傾向にあるため、労働安全衛生法に基づく安全衛生の講習や教育により、生産の向上と併せ労働安全の確保を図るために実施します。

(※参考1) 労働安全衛生規則が平成25年11月29日に改正され、「伐木等機械の運転業務」、「走行集材機械の運転の業務」、「簡易架線集材装置の運転又は架線集材機械の運転の業務」に労働者を就かせるときは、「特別教育」の実施が必要となりました。

(※参考2) 林業機械研修の日程等は、当センターのホームページの「研修情報」に掲載しています。

(2) GIS・GPS林業活用技術研修

林業の現場で、特に業務の効率化・高度化が求められる境界保全・施業履歴の管理・森林経営計画の作成等森林管理に必要なツールとして、GIS・GPSを活用できるよう、基礎的な知識・技能習得の研修を次のと

おり実施します。

ア 具体の操作を実務に則した操作方法で研修する。

イ 習熟はパソコンスキルに依存するため、習熟度に応じて初級と中級に分けて研修する。

(3) 森林作業道路網計画研修

森林作業道等の路網配置計画について、岩手大学の協力を得ながら、現場において測量・設計技術の習得と合わせて、路網密度と平均集材距離、生産コスト等を考慮した路線選定を行う研修を実施します。



森林作業道路網計画研修

3 森林組合等職員養成研修

市町村林務職員等初任者研修業務に必要な林業全般の知識等習得のため、市町村等職員を対象に、補助事業制度や森林経営計画制度及び森林整備事業助成制度、震災復興・県土保全に係る保安林・林地開発制度、治山事業や林道事業等路網計画に関する研修を実施します。

4 林業特技研修

(1) 森林保護技術研修

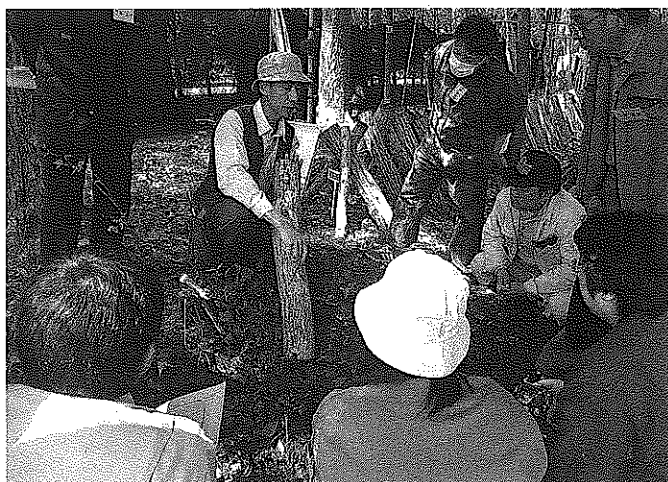
林業普及指導員等を主な対象として、「森林病虫害に関する研修」と「松くい虫やナラ枯れに関する研修」とを、現場において、実務的見地から実施します。

(2) 原木シイタケ栽培技術研修

原木シイタケの生産振興のため、春期から冬期にかけての各時期ごとに、主として新規参入者を対象とした基本的な栽培技術に関する研修と、中堅生産者を対象として地域や品種の特性、さらには環境影響に応じた研修とを実施します。

5 おわりに

国は、林業再生に必要な条件整備の一つとして、高性能林業機械等の



原木シイタケ栽培技術研修

導入を支援する方針であり、今後、林業機械についての整備や人材育成・資質向上を図るための諸政策が進むものと思われまます。

このような中、当センターでは、社会の要請を踏まえ、岩手県林業労働力確保支援センターや岩手大学等と連携・協力しながら、関係者と調整を密にして、有意義な研修となるよう取り組んで行きます。

林業技術センター研修部

019(697)1536